



## 野生イルカのケガについて

イルカ調査室では、船上からイルカの写真を撮って、一頭一頭を見分ける「個体識別調査」(こたいしきべつちようさ)を行っています。この調査では、識別(しきべつ)をするだけではなく、出産したイルカや、ケガや病気のイルカがいないか、いつもと違う様子が目立つかなども観察し記録をしています。今回は目立つケガをおった、2頭のイルカの報告です。上下どちらのイルカも、傷口の見た目にとってもショックを受けるほど大ケガといえます。また身体のサイズから考えるとケガは30%以上はあったと推察されます。陸上の動物とことなり、キズをなめて治すという行為はみられません。(ちなみに、ゾウもなめないらしい)



2024.1.29



2024.3.7



2023.7.19



2023.8.16

この2頭はどちらも、ケガによって体力が落ちたり、群れについていけなくなったりという影響はみられませんでしたが、さて、イルカの皮ふは、ヒトの10倍の速さで入れ替わるといわれています。なんと平均

**2時間で皮ふが剥がれ落ちる**

そうです。(人間のアカのように)

実際にこの2頭のケガは、発見からおよそ一か月半ほどで完治しました。びっくり!

しかし、もしこの傷からばい菌が入り、全身にまわってしまったら(感染症) 致命傷になってしまうこともあります。

無事に治って、本当によかったです。



# 天草イルカ調査室

天草漁協 通詞島沖イルカ環境実態調査事業

facebook



やってるよ!

天草では、サメの噛み傷が見られることはなく、イルカのケガはほとんどないといってもいいでしょう。白い線状の跡は、イルカ同士でかみあったり、どこかにこすったりなどの軽微なひっかき傷ですぐに消えてしまいます。

上の2頭のケガは、数年に1回あるかないかの出来事。原因はわかりません。船のスクリューや、人為的なものによるケガではないことを願います。

ところで・・・イルカは海水にいて

**しめないのかな!**

という疑問は誰でも思いますよね(笑)



# Amakusa SDGs

記事や活動についてのお問い合わせ



天草イルカ調査室



amakusa\_dolphin



検索